

科目名	デザイン実習 3B								年度	2025
英語科目名	Design Practice 3B								学期	2
学科・学年	デザイン科 イラストレーション専攻 2年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習	
担当教員	川口 貴弘			教員の実務経験	有	実務経験の職種	デザイナー			

【科目の目的】

本講義では、具体的に解決策を考察する「産学連携型」授業である。また、ディスカッションを通して、自ら考え、議論し、客観的な視点を持ち、且つ積極的にプロジェクトへの参加と貢献が求められる。コーチング能力やマネジメント能力を身につける。内外全体への発表も行えるようプレゼンテーション能力を習得することを目的とする。

【科目の概要】

これまで培った技術と知識を活かし、産学官と連携しながらプロジェクトを進めていく。実践を経験することにより、個人制作ではなく、最終決定者が第三者であることも意識していく授業内容である。

【到達目標】

自ら問題点を抽出することが出来るようになる。また、クリエイターにおいて重要な事前調査(リサーチ)能力の向上を図り、且つ、コミュニケーション能力向上も、同時に図る。個人制作ではなく、グループ内での立場を理解し、チームに貢献することを考慮できるようになる。

【授業の注意点】

取材時には、必ず取材依頼書を作成し、事前に申し出ること。講義に遅刻、欠席しないこと。実技課題を遅れても必ず提出すること。講義資料等の忘れ物をしないこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5		レベル3		レベル1
	優れている		ふつう		要努力
到達目標 A	各課題内容を理解できて、自発的に調査を進められる。		各課題内容を概ね理解する事ができる。		各課題内容を理解し事ができない。
到達目標 B	対象を観察しながら自ら改善点を見出せる。		対象を観察しながら自ら改善点を概ね見出せる。		各課題内容の理解が浅く、自ら改善点を見出せない。
到達目標 C	デザイン制作を進められ、依頼内容以外の案も提案できる。		デザイン制作を進められる。		デザイン制作を進める事ができない。

【教科書】

授業内にて、適宜配布する。

【参考資料】

授業内にて、適宜配布する。

【成績の評価方法・評価基準】

【課題完成度】 60% 提出課題完成度を総合的に評価する

【途中経過】 20% 発表する内容を考慮する

【平常点】 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		デザイン実習 3B			年度	2025
英語表記		Design Practice 3B			学期	2
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	デザイン・シンキングの応用	授業ガイダンス	ガイダンス	本講義の主旨を理解する	3	
2	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）	課題発表	企業や自治体の関係者によるオリエンテーション	3	
3	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）	デザインリサーチ	リサーチ&企画検討1を進める	3	
			講評	指導教員から制作進行のチェックを受ける		
4	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）	デザインリサーチ	リサーチ&企画検討2を進める	3	
			講評	指導教員から制作進行のチェックを受ける		
5	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）	デザインリサーチ	リサーチ&企画検討3を進める	3	
			講評	指導教員から制作進行のチェックを受ける		
6	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）	デザインリサーチ	リサーチ&企画検討4を進める	3	
			講評	指導教員から制作進行のチェックを受ける		
7	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）	制作	企画内容・サムネイル1を進める	3	
			講評	指導教員から制作進行のチェックを受ける		
8	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）	制作	企画内容・サムネイル2を進める	3	
			講評	指導教員から制作進行のチェックを受ける		
9	デザイン・シンキング	中間発表	中間発表	各々、企業の関係者へ中間発表を行う	3	
			講評	中間発表の講評を精査できる		
10	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）	制作	試作のブラッシュアップ1を進める	3	
			講評	指導教員から制作進行のチェックを受ける		
11	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）	制作	試作のブラッシュアップ2を進める	3	
			講評	指導教員から制作進行のチェックを受ける		
12	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）	制作	講義及び、試作のブラッシュアップ3を進める	3	
			講評	指導教員から制作進行のチェックを受ける		

13	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）		制作	最終発表に向けた試作1を進める	3
				講評	指導教員から制作進行のチェックを受ける	
14	デザイン・シンキング	演習・実習（産学・学官 連携課題）		制作	最終発表に向けた試作2を進める	3
				講評	指導教員から制作進行のチェックを受ける	
15	デザイン・シンキング	最終発表		最終発表	各々、企業の関係者へ最終発表を行う	3
				総評		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						